

雑感

追っかけ

母校の合唱部のステージの追っかけをしている。

母校合唱部のここ数年の壮大なチャレンジは再混声化である。私が現役高校生として歌っていた時は混声だったが、15年間女声になっていた。私が追っかけを始めた8年前、1人の男子が入部し、再混声化への道を歩き出した。徐々に男子が増え、その久しぶりに入部した男子が引退する直前の音楽会では、男声合唱、女声合唱、混声合唱を披露した。5年前からは2つあるコンクールのうちの1つは混声で、もう1つは女声で出場している。

今年は新しい試みとして、混声で出場するコンクール前々日に演奏曲の「お披露目会」があった。部員自らが発案し、実行した。この事は、合唱部員の自己肯定感を高める事、すなわち、自信を持って演奏をする事に繋がったのではないかと思う。先日行われた県大会では金賞を受賞し、9月に行われる近畿ブロック大会に駒を進めた。

たった1人の男子部員から始まった再混声化だが、今では県大会で金賞である。先日、北海道でロケットを飛ばしている植松努さんの講演を伺ったが、植松さんの言葉を借りれば、まさに「思うは招く」である。

「私なりの追っかけ道」は、ひたすらに応援し、相談には乗るけれど、高校生の邪魔をしないことである。こどもの森のスタッフのあり方と似ているように思っている。こどもの森でも、子どもたちが思いをもって何かに取り組むことに寄り添いたいと思う。(矢熊紀子)

たつた1人の男子部員から始まった再混声化だが、今では県大会で金賞である。先日、北海道でロケットを飛ばしている植松努さんの講演を伺ったが、植松さんの言葉を借りれば、まさに「思うは招く」である。

こんな学校に出会いたかった！！

♪箕面こどもの森学園 生徒募集♪

2019年度・2020年度の生徒募集をしています！

自分も人も大切にしながら、いきいきと学べる学校に入学しませんか？

募集人数(2019年度)

小学部:2年生(1名)、4年生(1名)、5年生(2名)

中学部:1年生(2名) 2年生はご相談ください。

(2020年度)

小学部:新1年生(8名)

中学部:新1年生(4名)

*中3の受け入れは行っていません。

*その他の学年は、欠員待ちへの登録となります。

見学日:月・金(事前申し込み必要)

体験入学:学校見学の後、所定日数の学習体験をしていただきます。

見学日:月・金(事前申し込み必要)

体験入学:学校見学の後、所定日数の学習体験をしていただきます。*ご見学、入学をご希望の方は、下段の「お問合せ先」までご連絡ください。

もりもりサポーター大募集！

20代～70代までの人たちが、年齢や性別の枠を超えて、同じ夢を描くチームの一員として和気あいあいと活動できるのが、箕面こどもの森学園の醍醐味。

ぜひ、もりもりサポーター(会員)になって、ご関心のあるところに参加していただければとてもうれしいです！詳しくはHPをご覧ください。

おとなの森

■「もりラボ企画」子どもがトラブルに遭っても大丈夫！？～親が知っておきたい法律知識～知ってよかったと思える身近な法律知識を楽しく学べる企画です。

【日時】9/14(土)13時から14時半

【参加費】800円

【講師】吉田聡史(慶應義塾大学院ロースクール修了法務博士)

【定員】10名

■ 学び場コーディネーター

「Manabeeプログラム」報告&交流会

半年間のプログラムを終えての参加者の方による学びの報告と交流会です。どなたでもご参加いただけます。

【日時】12/14(日)17時から20時

【参加費】3,000円(軽食付き)

お問い合わせ先

〒562-0032

大阪府箕面市小野原西 6-15-31

TEL&FAX: 072-735-7676

メール: info@kodomonono-mori.com

URL: http://kodomonono-mori.com



《編集後記》

この度、NPO法人名が変わります。これからも大切な未来の社会を作っていくよう頑張りたいと思います。子どもたちはもちろん、学園のイベントや活動も盛りだくさんなのでぜひチェックしてみてください！(日置)



「宇宙」を探求した子どもたち

1学期のテーマは「うちゅうにむちゅう」。未だそのほとんどが解明されていない「宇宙」。そんな謎だらけで不思議で美しい世界を、小学生たちが探求しました。

学びのスタートは学習室でのプラネタリウム投影。そして大阪市立科学館に見学に行ったり、専門家の方に「宇宙の大きさ」についてのお話を伺ったり、地域の天文ガイドの方のご厚意で、立派な天文台での星空観望会も開催し、望遠鏡で火星を見たりもしました。

低学年クラスでは、わたしたちが住む地球や太陽系の惑星たちについて学び、大きな紙に太陽系の絵を描いたり、紙粘土で惑星の模型を作ったりと、それぞれが宇宙に想いを馳せながら楽しみました。

高学年クラスでは、一人ひとりの興味関心に沿って小テーマを見つけ、探求学習を進めました。縮尺を計算して太陽と月の模型を作った人や、月の成り立ちについて紙芝居でまとめた人たち、星座のお話をプラネタリウム解説でまとめた人、他にもビッグバン、ブラックホール、天王星、宇宙の終わり、重力、相対性理論、はやぶさ2、オーロラ、宇宙ゴミ、地球外生命体などなど、宇宙のように果てしない学びの世界が広がりました。(守安)

体育祭

5月26日に体育祭が開催されました！大型連休をはさんだこともあり、慌ただしく本番を迎えましたが、体育祭実行委員の人たちを中心に、各グループの人たちが、それぞれの役割を担って、準備をすすめてきました！

体育祭は、小1から中3までの縦割りのグループ7つが、それぞれプログラムを決めて取り組みます。一つ一つのプログラムに、担当のスタッフが一応はいますが、あってないようなもの。一番理解している

のは子どもたちです。今年のプログラムは、マラソン/つなとり/パン食い/玉入れ/休憩/二人三脚/しょうがいぶつりレー/氷おに/リレー。卒業生たちも来てくれて、とても暑かったけれど、あっという間に楽しい時間が過ぎて行きました。(藤丸)



夏まつり

今年も7月に、子どもたち手作りの夏まつりが開催されました。実行委員は、例年より早めに話し合いを始め、夏まつりが初めての人や、実行委員になるのが初めての人に対しても、先輩の人たちがサポートしながら話を進めていました。

準備では、一年生に「これでいい？」と確認している年上の人や、高学年同士で全体のことを見通した話をしている人たちも。なかなか頼もしい！

そうして迎えた当日は、多くのお客さんが来られ、流行の「タピオカのお店」、久しぶりのお店の「射的」、毎年恒例の「おばけやしき」など、あちこちに行列ができていました。夏まつりが初めての一年生も、看板を持って「もぐらたたきやってみーす」などと宣伝。今年の夏まつりも賑わいました。(福田)



発行日: 2019年9月10日
発行所: 認定NPO法人 箕面こどもの森学園
〒562-0032
大阪府箕面市小野原西 6-15-31
tel&fax 072-735-7676
e-mail info@kodomonono-mori.com
URL http://kodomonono-mori.com



“水”から自分のアクションへ

1学期のワールドオリエンテーションは「水」をテーマに取り組みました。昨年度までとは変わって、小学部とは別のテーマにしました。中学生には、スタッフから教えられたことをもとに学ぶのではなく、身近なものをきっかけに自分自身で興味関心に気付いて学びを創っていくという、より自立した学習をしてほしいという願いからです。

生活に欠かせない水をテーマにして、最初に軟水と硬水の飲み比べをして五感で違いを感じ取ることから始めました。その体験を出発点に、クラス内でキーワードや疑問を出し合い、それをもとに各自のテーマを検討。その上でそれぞれが別の外出先を考え、いくつかに分かれてスタッフの引率なしで出かけ、自分の足で情報を収集。更には実験やアンケートなど、積極的なアクションがあり、最後にはプレゼンテーションとブース発表で学んだことを詳しく伝えました。

様々な視点から「水」を捉える豊かな学びが生まれていました。(佐野)



各種イベントのお知らせ(9月~12月)

こそだての森

■ 子育てカフェ「こどもの森のハッピーアドバイス」

生きる力の土台、「自己肯定感」の育み方を一緒に考えましょう。

第1回 9/11(水)「型やぶりの子育て、一挙大公開！」

第2回 10/16(水)「今のわたし、まるごとOK！」

第3回 11/13(水)「子どもの可能性を大きくひらくコツ」

第4回 12/11(水)「わたしの未来を描こう！」

【時間】10時から12時

【参加費】2,000円

【講師】坂本田鶴子、守安あゆみ(認定子育てハッピーアドバイザー)

【定員】20名



■ 親と子の土曜クラス「そら in 里山」

感性を研ぎ澄ますこどもの時間。「わたし」に還るおとなの時間。黒川公民館のレトロな建物と自然の中で、楽しい時間を過ごしませんか。

体験会&説明会

【日時】11/16(土)10時から12時

【場所】黒川公民館(旧黒川小学校、川西市黒川)

【参加費】3,050円(親子1組、保険料込)

【2019年度そら開催日(後期)】11/30、12/21、1/11、1/25、2/8、2/22、3/7、3/21

【定員】15組

■ のせでんアートライン「キッズワーク in 里山」

大阪のてっぺん、能勢の自然の中で親子で里山のくらしを体験しませんか？

【日時】11/23(土)10時から14時

【場所】なつかしさの森(能勢けやきの森資料館隣)

*参加費等、詳細は決まり次第こどもの森HPにてご案内いたします。

おとなの森

■ 教育カフェマラソン

2ヶ月に1度、社会で活躍されている方々のお話を聞いて、対話の文化を深める活動をしています。9月はジビエ料理バージョン！

【日時】9/20(金)18時半から21時

【参加費】1,500円(ジビエBBQ付き)*飲み物は各自ご持参ください

【話題提供者】中博さん(おすそ分けハンター)

【定員】20名

【小学部】

自由作文

ひなた（小1）

じんじゃでかえるをさわった。うなぎのにおいがした。うめくらげをたべた。

ちま（小1）

とっとりであいすたべた。もみじまんじゅうはたべるのもったいなかったから、とつといた。

トイレにガがいっぱいいたこと さね（小4）

6月9日、六甲山の山頂のトイレに行ったら、ガが壁にいっぱいくっついていて、少し動いていた。よく見てみたら、便器にガがいた。少し気分悪くなった。

プロジェクト紹介

ダンス ちの、しょうたろう、ゆずき（小3）

なぜこのプロジェクトをやってみたかという、ちのもやりたいって言って、みんなでやってみようってなって、はじめました。良かったところは、3人でできたことです。

かいぜん点は、5人でおどる曲だったから、ちゃんと5人あつめればよかったです。れんしゅうでむずかしかったところは、チームワークがあんまりまとまらなかったことです。ちのははじめてだったけど、じぶんではけっこううまくできてよかったとおもいます。そして、みんなでできてたのしかったです。 つぎやりたいダンスは、そつぎょうしきでおどりたいです。つぎにやりたいプロジェクトは、ちのはずかんで、ゆずとしょうたろうはダンスです。

※研究発表会で、ダンスを披露してくれました。



【中学部】

中学部の新しいデキゴト

中学部に、いくつか新しい取り組みがありました。

<学習室の環境> ～サークルベンチの導入～

今年度から、学習机を3階と2階に分けて配置することで、サークルベンチを置くスペースを設けることができました。ホームとなる場所があることで、クラスの中の対話が活発になりました。各学習の導入もサークルになってできるので、より近い距離で話ができるようになっています。



<ワールドオリエンテーション> ～自分たちで広げる学び～

最初に「目的のない散歩」に出かけました。そこでは「五感を大切にしよう」というテーマでいろんなことを感じ取ってきました。それから中学部独自に「水」というテーマを設定。スタッフから水について伝えるということはず、最初に軟水と硬水の飲み比べをしたことをきっかけに各自のテーマを設定し、見学先も

書くことがないこと みあ（小5）

最近何もなかったの、特に書くことがありませんでした。何も起こってなかったけれど、暇ではありませんでした。

7時に起きて、8時15分に家を出て、学校に行き、帰って宿題をして、塾に行き、8時20分に帰って、お風呂に入って、ゴロゴロして、寝て、と、最も忙しい日の1日が終わりました。

忙しくはなかったけど、ずっと同じことを繰り返しているな-----、と思いました。

でも、これもこれで平和でいいな-----、と思いました。 それに、「書くことがない」と言っていました、「書くことがない」ことについて書けるので、結果オーライだなー、と思いました。

ボールネット おうた、みなと、たつ（小6）

ボールネットの報告をします。どうして作ったかという、「ボールが車にあたる」ということで、スタッフから困っているという議題が全集に出て、作ろうということになりました。

作り方をざっくりと説明します。好きな大きさに木を切って、それが立つまで土にうめす。その上からネットをたらしす。下に垂れたネットと木を固定します。これで完成です。良かった点は、みんなで協力できたこと・1人1人の役割を決めて実行できたこと・楽しくできたことです。改善点は、担当のスタッフがなくても自分たちのやることを把握してすすめればよかったこと・みんなが遊んだりしていたから、集中して作業すればよかったことです。途中で1人意見が合わなくてやめたけど、結局3人で完成できてよかった。



認定NPO法人箕面こどもの森学園の事業活動 4月～8月

NPO 法人名が「コクレオの森」に変わります

NPO 法人になった頃は学校運営が主な活動でしたが、小野原に新校舎ができてからは、そのスペースを使って一般の人向けの講座やイベントを開くようになりました。そのような中、法人の将来のビジョンについて話し合いを重ね、「こどもの森」、「こそだての森」、「おとなの森」、「ミライの森」の四つに分けて活動することになりました。

そうすると「箕面こどもの森学園」では活動内容が分かりにくいので、法人名を変えようということになり、新名称を考えるチームを作って検討しました。「共創の森」、「コクレオ」、「コクレオの森」の三案に絞って、総会で正会員による投票を行い、「コクレオの森」に決まりました。「コクレオ」は、英語の co（共に）とエスペラント語の kreo（創造する）の合成語で、「共創」という意味です。「共生的で持続可能な社会を、みんなで創っていこう」という私たちの意思を表明したものです。

これからは「コクレオの森」をよろしくお願いします。（辻）

学校の「幸せ」を考えるハッピースクールに選ばれました！

学校が、通う子どもたちはもちろん、働く教職員にとっても幸せな場所となるにはどうすればいいのか？ UNESCO パンコクが、幸せな学校のあり方について考える「ハッピースクールプロジェクト」をスタートさせています。タイ、ラオス、日本でそれぞれ数校のパイロットスクールがつくられるのですが、箕面こどもの森学園もその一つに選ばれました！

ハッピースクールでは、人間として幸せに生きるための指針の枠組みが考えられているのが特徴的なところです。個人の気づきから始まり、社会への関与というところまで広がっていくことが目指されています。現在、その枠組みの使いやすさや応用の方法などを日常の教育実践やスタッフ研修などを通して検討しています。

学校がもっと幸せな場所になるためには

どうすることがいいのかを考えながら、取り組みを進めていきたいと思っています。（藤田）

そら in 里山

「里山に皆が集える場所があればいいなあ～」の夢が叶って始まった黒川公民館での『そら』の活動、地域の人に協力いただきながら15組の親子と楽しい時間を過ごしています。窯で焼いたピザ、裸足で入った田んぼ、木工や竹クラフト、また木造の優しい空間に包まれての“子育てカフェ”では、“自己肯定感の育み方と甘えの大切さ”について話し合いました。

近くにあるヨナナさんから届く自家焙煎のコーヒーも気分が盛り上がります。台風などの影響で延期になることもあり、自然とともにある里山の生活を垣間見えています。「秋になったら、焼き芋しようね！」「雪すべりできるかなあ～」これからも、めぐる季節の中での里山を楽しみたいと思っています。（西川）



インドでの長期研修

スタッフ研修の一環で6月から2ヶ月半、スタッフの高原がインドで過ごしました。今回は南インドにある、リシヴァリー・スクールという二つの学校に滞在しました。どちらもインドの哲学者ジッドゥ・クリシュナムルティの理念をもとに、自然との共存・対話・自分の感覚に向き合う、そんな学びが豊かな自然環境とゆったりとした時間のなかで行われていました。他にもモンテッソーリ・センター、チェンナイにある出版社タラブックス、ストーリーテリングのNGOカタラヤを訪れました。

さまざまな学びや暮らしのあり方にふ

れ、心がたくさん動いた旅。この経験をこれから活かしていけたらと思っています。（高原） ※今回の研修旅費の一部は「ユーラム基金」の助成を受けました。



北海道視察旅行

8月5日から8日まで北海道で4施設を視察しました。まず、「札幌トモエ幼稚園」へ。“こどもは勝手にあそぶ”長屋のような雰囲気の中、家族の中心である母育てをするというお話が心に響きました。次は、「北星学園余市高等学校」へ。生徒・教職員・保護者・寮母、それぞれが向き合う姿勢や、生徒会に入ることが一年生の憧れというお話から余市高校が大切にされていることが伝わってきました。そして、「北海道シュタイナー学園」を訪ねました。小・中学校は学校法人、幼稚園・高校はNPO法人体制の経営、廃校利用、教育移住のこと、行政との関わり方や、保護者との学校創りなど、「ミライの森」に通じるお話を伺うことができました。最後は「社会福祉法人浦河べてるの家」へ。べてるの家の日常に私たちがお邪魔するという雰囲気の中、分野は違うものの“私も大切、あなたも大切”という“こどもの森”の在り方と通じるものに心が揺さぶられました。今後につながる充実した視察となりました。（西川） ※この視察旅行は、ユーラム基金の助成を受けました。

